令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
運動部活動の地域移行に向けた実証事業　成果報告書（概要）

山形県高畠町

●地域における現状・課題

・高畠町は、部活動改革の地域の受け皿として全国的に期待されている、「総合型地域スポーツクラブ」がない。
・町内に４校あった中学校は平成２７年度に統合し高畠中学校として開校。グラウンドは全天候型のトラックと人工芝等を備えており、部活動にも力を入れて取り組んできた。地域移行後の活動拠点として期待される。
・高畠中学校は現在、平日・休日ともに部活動として活動中。令和５年度からは完全に任意加入へと移行したが、部活動加入率は98%である。

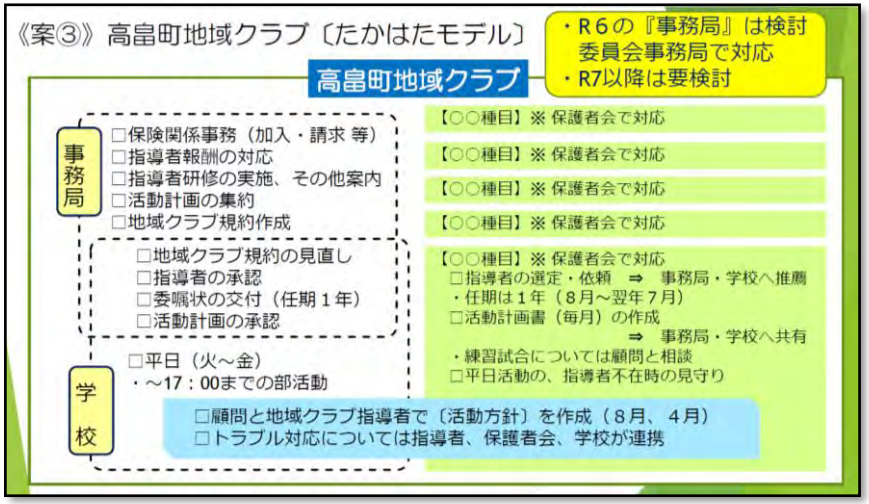
●取組事項の概要

・「高畠町地域クラブ活動検討委員会」を立ち上げ、第１～３回の検討委員会を実施。時期は、５月、１２月、２月。
・アンケート調査を１０月に実施。〔対象1,932名：児童生徒（小５・６、中１・２）、保護者（小４～６、中１・２）、小中教職員（回答率66.05%）〕
・先進地視察を１０月に実施。〔視察先：岐阜県白川町「一般社団法人スポーツリンク白川」、 愛知県大口町〕
・検討委員会主催の研修会を１月に実施。講師「一般社団法人スポーツリンク白川　クラブマネージャー　渡辺 靖代　氏」 演題『どうなるの？私たちの部活動』

●取組の成果、特に工夫した点等

・アンケートでの意識調査で町としての体制づくりに係わる課題を明らかにし、 白川町の先行実践から学んだことを生かして、〔たかはたモデル（仮称）〕のベースをつくることができた。現在、検討委員会で検討中。

●運営体制図　※現在、検討中の体制



●地域クラブ活動の概要　※今年度の取り組み

（１）運営類型：地域団体・人材活用型
（２）運営主体：高畠町
（３）種目：柔道
（４）指導者の主な属性：部活動指導員（地域指導者）
（５）１か月あたりの平均的な活動回数：１２回（週３回）
（６）主な活動場所：高畠中学校 柔道場　、　高畠町武道館
（７）主な移動手段：徒歩　、　自転車
（６）１人あたりの参加会費等（年額）：10,000円/年
（７）１人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円